

震災後論

【2】

ようして 画で、振興予算を振りかぎ のか。強者のための政治で がちです。自分は日本人だ 不平等や差別の上にしから 進む。 して知事を丸め込み、地元 す。強い者に利益が回って、 から差別される側ではない 日米安保や原発が維持でき 弱いが苦しめられる。 と安心し、見て見ぬふりを ないならば、日本を根本か 間、原発や とする。 米軍基地が必要だといっ するのです。でもいつ自分 ら問い直し、新しい日本に

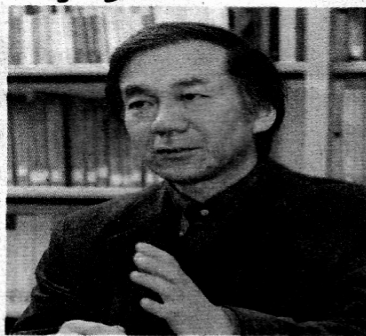
私は父の転勤でいわき市 制という戦後日本の「犠牲 理は、祖先が帝国の支配層 いう人たちの多い沖縄に押 通、会津の各地方の小中 のシステム」が暴露された で、生まれながらにして統 治者側に属すると思ってい や差別の構造を知りながら まれて日本社会がバラバラ る人の声を聞くしかない。

学校を転々しました。県 全体が私のふる郷です。 福島では、表向き普通の 生活をしている人も放射線 への大きな不安を抱えて暮

「犠牲のシステム」暴露

高橋 哲哉さん

事故から見えた国家体制



哲学者の高橋哲哉さん

たかはし・てつや 大東 福島 生まれ。著書「犠牲のシステム」など。 教授。沖縄

が風化しつつあり、この程 度で済んでよかったと考え ている人もいるようです。 福島の人たちを置き去り 端の国民は目に入っていない ます。 統 治 者 側 に 属 す る と 思 っ て い る 人 々 が 知 ら ぬ 間 に 格 差 拡 大 や 非 正 規 雇 用 の 急 増 で 社 会 に 不 満 が た ま っ た と ころ に 震 災 が 起 っ た。 それには市民的で民主的

働に前向きで原発輸出にも うとして見るのを見ると、 犠牲を顧みない政権の冷酷 基地にあえぐ沖縄の人たち 追害の対象を広げたよう シーから満州事変へ向かっ ます。 誰かを犠牲にした幸

どの犠牲を織り込み済みの 米軍普天間飛行場の移設計 全く動かない政治とは何な 分は対象にならないと思っ た。 いのです。